

南が丘中学校マニフェスト(中期学校運営計画)

計画期間 平成18年12月1日～平成23年3月31日

学校教育目標 知性豊かな生徒を育成します。 < 学び合い >
心豊かな生徒を育成します。 < 共生 >
たくましい生徒を育成します。 < 心と体 >

学校経営方針

- 1 生徒が進んで学習する意欲を持ち、また持ち続けられるように、基礎学力の定着に努め、個に応じた指導の充実を図ります。
- 2 生徒が諸行事、諸活動に積極的に取り組めるよう、お互いを認め合い、強調することの大切さを考える態度を育てます。
- 3 生徒が明るく楽しい学校生活を送られるよう、有効な活動の場を設定し教育環境の整備に努めます。

指導の重点

- 1 「生きる力を育む」 生徒の主体的な学習の推進 (自ら学ぶ・自ら考える)
 - (1) 基礎的・基本的な内容の定着 (個に応じた指導の充実)
 - (2) わかる授業、楽しい授業の展開 (個性を生かす指導の充実)
- 2 「道徳性を養う」 心を育てる教育の推進 (思いやり・心豊かな人)
 - (1) 人間尊重の精神や生命を尊重する学校教育の実践
 - (2) 道徳・国際理解・福祉教育の実践
- 3 「生徒指導の充実」 個に応じた指導 (社会変化に対応した指導の充実)
 - (1) 教育相談の実施
 - (2) 一人ひとりの個性を伸ばさせる生徒指導
- 4 「まち」とともに歩む学校づくり
 - (1) 学校・家庭・地域との連携 (生徒の健全育成)
 - (2) 開かれた学校づくり

改善の視点

- 1 充実した教育課程の推進

取組目標

学習指導における基礎基本の徹底を図ります。
 ・各教科の指導計画をもとに、基礎基本を充分におさえ、学力向上を目指します。
 ・学習指導における創意工夫と授業改善を図ります。
 ・生徒の実態に応じた創意工夫ある授業展開に努めます。
 ・少人数、教科一斉授業における段階を踏んでの習熟度別授業の展開や習熟度に関する研究を積極的に進めます。
 特色ある授業形態として、各学年における教科一斉授業の充実を図ります。
 ・長期休業期間中における補習的学習と個に応じた学習の展開を進めます。

- 2 ゆるぎない生徒指導の展開

・不登校生徒の「ゼロ」を目指します。
 各学年の不登校生徒への対応として、学級担任を中心とした組織化を図り、組織として定期的に対応し、外部機関等の活用を図ります。
 教育相談の充実を図ります。
 場所や機会を問わず、相談活動を行い、「心の指導」を考えます。
 ・家庭訪問を活用します。
 保護者との連携を強化し、生徒についての相互理解を図ります。
 ・情報の収集に力を入れます。
 生徒の言動を正確に分析し、指導に役立てます。
 ・「けじめ」指導の徹底を図ります。
 年間を通して「けじめ目標」を設定し、全職員で指導にあたります。

- 3 教育環境の整備

・日頃の良い教育環境を維持していくためにも、生徒自らの教育環境に関する自浄作用を高められるよう、あらゆる機会を通して指導に当たります。
 ・各学年で環境教育を積極的に推進し、課題解決に向けて創意工夫をこらします。

4 安心・安全・安定した学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心して安全に日常生活が送られるよう、校内セキュリティシステムの活用や巡回警備の強化、開門及び閉門時間の短縮などを通して対応を強化します。 生徒一人ひとりの「心の叫び」を見抜けるよう、日頃の生徒との関わりを大切に、また、いじめや暴力問題などの人権侵害が決して起きないように、生徒のサインを見逃さず、細心の注意を払って指導にあたります。
5 学校評価の積極的な導入	<ul style="list-style-type: none"> 学校を開き、生徒の日常生活、学校行事など多くの機会を通して、生徒はもとより、保護者・地域へも評価を積極的に依頼し、また、学校ホームページにも広報していき、的確な要望や意見を集約し、学校経営に生かします。

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 新任教職員、若手教職員の育成を図るため、教育委員会主催の研修を活用するとともに、初任研コーディネーターを中心に校内研修の充実に努めます。 校長、副校長が主幹教諭と連携し、ベテラン教職員の活用を図る取り組みを進めます。
平成20年度の重点取組項目	<ul style="list-style-type: none"> 充実した教育課程の推進に向けて、学習活動における基礎・基本の徹底を図る。そのために平常授業以外に行われる「教科一斉授業」や「夏休みの教育相談」の取り組みを充実させる。 生徒指導の充実に向けて、教育相談を積極的に行う。学期の始まりや長期休業の後など学級担任が中心に教育相談を行い、生徒一人ひとりの個性の把握と伸長を目指し、調和の取れた人に成長できるよう指導と支援に努める。 教育環境の充実に向けて、保護者・地域と協働し活力ある開かれた学校づくりを目指す。昨年同様「学校をひらく週間」の取り組みを中心に、誰でも来やすい雰囲気作りを行い「ひらかれた学校」を目指します。
これまでの取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 「学校をひらく週間」については、とても充実した取り組みが行われた。授業参観を3日間連続で行うことにより、日頃から仕事等で忙しい保護者の方々が参加しやすくなり、学校評価アンケートでもより良い意見が多くみられた。また、地域の方々の参加も増えた。 学区小学校との連携については、昨年度よりも積極的な交流ができた。土曜学校で行われるスポーツ交流会にも小学生の参加がみられた。また、2月と3月に行われた中学校の体験授業(数学・英語)や部活動見学では、小学生の積極的な活動があった。本校の教員も小学校に出向き、授業を見学をしたり、給食を食べながら懇談したり等の活動を行った。 安心した学校づくりの推進において、教職員はもとより地域の方々の連携も深まっています。地域の方々からの情報提供や地域での励まし、そしてパトロールへの参加など積極的な動きがみられました。また、生徒たちの地域行事への積極的な参加も実現しています。教職員の活動については、部活動生徒の下校時に地域パトロールを行いました。
教育懇話会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度の南が丘中学校マニフェストを策定するに当たり、平成20年2月頃、PTAの本部役員を中心とした教育懇話会を開き、いろいろなご意見をいただきたいと思えます。昨年度の意見は次の通りです。 生徒は非常に落ち着いており、挨拶もしっかりできるので、この状態を継続してほしい。夏祭りや地域行事に、延べ数百人の子どもたちが積極的に参加しており、大変感謝している。 部活動の活躍は、保護者や地域としても嬉しい。様々な場面でバックアップしていきたいので、次年度以降も指導者の確保をお願いしたい。

1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 2 は重点項目